

## 「レイカディア滋賀 高齢者福祉プラン」の改定について

### 1 計画策定の趣旨

- 滋賀県においても年々高齢化が進行し、令和5年(2023年)7月1日現在で27.0%であり、高齢者数がピークとなる令和27年(2045年)頃には、高齢者は今より約6万人多い43万3千人、高齢化率は34.3%になる見込みです。
- ほどなく「団塊の世代」がすべて75歳以上となる令和7年(2025年)を迎えますが、新型コロナウイルス感染症の流行など、この間に生じた大きな変化を踏まえつつ、「団塊ジュニア世代」が65歳以上となる令和22年(2040年)に向けて、各地域の実情に応じたサービス基盤・人的基盤の確保や、「支え手」「受け手」という関係を超えて地域を共に創っていく社会の実現に向けて取り組むことが重要となってきます。
- 介護保険事業の実施主体である市町行政をはじめ、様々な団体、事業者、専門職や住民などととも、2040年を見据えながら、「健康しが」の実現を目指すこととして、本計画を策定します。

### 2 計画の性格等

- 超高齢化社会の到来を予測し、明るい長寿社会を拓く湖の理想郷づくりを目指す「レイカディア構想」(昭和62年)の系譜を引き、平成18年3月から老人福祉計画・介護保険事業支援計画として一体的に策定。
- 現行計画は令和3年(2021年)度から令和5年(2023年)度、次期計画は令和6年(2024年)度から令和8年(2026年)度の3年間の計画。

### 3 計画の構成(案)

資料3のとおり

### 4 策定スケジュール(予定含む)

令和5年	3月	高齢化対策審議会に諮問
	9月	庁議(論議事項)
	10月	厚生・産業常任委員会に報告(骨子案)
	11月	高齢化対策審議会から答申 庁議(協議事項)
	12月	厚生・産業常任委員会に報告(原案)
	12月~令和6年1月	県民政策コメント
令和6年	1月	庁議(協議事項)
	3月	厚生・産業常任委員会に報告(案)
	//	計画策定